

平成30年度市政懇談会 開催結果概要

- 日時 平成30年7月4日（水）午後6時～
- 会場 阿寒町公民館
- 参加者 21人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

○市立釧路総合病院新棟建設の延期について

○つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

- ・ 釧路市の課題
- ・ まちづくり基本構想
 - 目指すべきまちづくり
 - 重点戦略
 - 域内循環
 - 域内連関
- ・ 平成30年度の予算
- ・ まちの活力を高める地域経済の活性化
- ・ 地域経済を担う人材育成
- ・ 経済活動を支える都市機能向上

〔事前調査による地域からのご意見等〕

■動物園のジェットコースターについて

市外から来た人が、動物園にジェットコースターが無くなっているがっかりしていました。子どもたちのためにも、動物園の集客のためにもジェットコースターを整備してほしい。

【動物園長】

ジェットコースターにつきましては、設置から20年を経過して安全性の確保が難しくなったため平成22年12月に撤去しています。

ジェットコースターの運行には、毎年のオーバーホールが義務化されており、その経費だけでも年間約1,450万円と収入を400万円ほど上回る実態や、少子化の進展などもあり、再整備は困難と判断したものです。

動物園では、これまでサイクルモノレールの再塗装や観覧車の窓の更新などを進めており、今後とも遊戯施設の整備を適宜行ってまいりたいと考えています。

一方、遊戯施設の老朽化が進む中、人口減少と少子化に伴い利用料の収入が減少傾向にあります。こうした厳しい環境の中、今の動物園にふさわしい遊園地とはどういうものであるのかについて、自動遊戯施設の集約化やコンパクト化、体験学習型遊具施設の導入など含め、研究してまいりたいと考え

ています。

【市長】

これは関西で10年程前に起きたジェットコースターの事故を受けて、毎年安全を確保するために定期点検をしなくてはならなくなり、その費用が毎年1,450万円かかっていました。このこともありますが、やはりランニングコストのことも考えながら進めていかななくてはなりません。物を作っていく時には、補助金などいろいろな仕組みがあるので、負担を少なくすることができますが、ランニングコストというのは補助金もなく、毎年現金で払っていかなくてはならないものです。このランニングコストをいかにかからないように工夫していくのが大きなポイントになってきます。

予算編成では、ランニングコストをかけずに利便性をいかに確保するかということを考えながら進めており、財政健全化の中で持続可能な取り組みを進めて行くことが重要だと思っています。

●意見交換

【参加者A】

年寄りが多くなっており、身体障がい者、中でも車いすの方が公民館の2階へ上がろうと思っても上がれません。建物の構造上の問題もあろうかと思いますが、エレベーターの設置を要望いたします。

赤いベレーの駐車場に車いす用のスペースが2台分あるのですが、車いすマークが薄くなっており、健常者の車が停まっています。車いすマークを色の違うものにして、立て看板や三角のコーンポールを立てていただけたら健常者の方も停めないのではないかと思います。

高速道路が開通して、車いす利用の方が多くなり、赤いベレーに宿泊しようと思っても宿泊できる環境にありません。車いす利用の方は2階に上がることができません。公民館と同様に構造上の問題があるかと思いますが、エレベーターの設置等の検討をお願いしたいと思います。

【参加者B】

関連して、公民館の障がい者用駐車場の正面に車を何台も止められると、駐車場に入るのはいいが出るのが難しい。斜線を引いて駐車ができないようにしてあるが、普段は斜線が引いてあるところにも駐車されています。3～4台程度、障がい者が駐車できるような方法がとれないでしょうか。

【阿寒生涯学習課長】

2階への移動については、2カ所ある階段を使用させていただいておりますが、ひざや足の悪い方々のご苦労されて上がり下りをされていることは、十分認識しているところです。5年程前に、専門の業者にエレベーターの設置について相談させていただきましたが、公民館の地下構造そのものがエレベーターの設置に耐えられないということと、床暖房設備の関係もあり、莫大な経費と長期間公民館を休館しなくてはならないということでした。利用者

がご苦労されているということですので、今後、どのようなことができるのか、検討させていただきたいと思います。

また駐車場に関して、車いすの方々が停める場所については、出入口付近が埋まってしまったら動けないというのはその通りでございますので、良い方法について検討させていただきたいと思います。

【阿寒町行政センター長】

車いすの方の駐車場の件ですが、他の施設でも、一般の方が駐車してしまい、身体障がい者の方が停められないというようなお話は聞いています。現地の確認をさせていただき、どういった工夫ができるのかを早急に検討させていただきたいと思います。

赤いベレーのエレベーターの関係です。平成21年頃に行政センターの内部で赤いベレーの車いす対応のエレベーターの設置について検討した経過があります。その時には、巨額の工費がかかるということと、3カ月程度の期間がかかり、長期に渡り営業を停止しなければならないということから、現在まで設置に至っていない状況です。

現在、週1回お風呂を利用される車いすの方が居られます。その際には、スタッフが駐車場まで迎えに行き、お風呂まで移動のサポートをしております。また、過去数回、車いすの方が赤いベレーに宿泊されたことがあり、その際もスタッフが2階まで車いすを持ち上げて利用のサポートをしたということがあります。

今後の課題として、検討させていただきたいと思いますが、できる限り、スタッフの方で利用のサポートをしたいと思っておりますので、遠慮なく、引き続き使っていただきたいと思います。

【参加者B】

障がい者のためにお風呂を整備しているホテルはほとんどありません。自分もよく行きますが、障がいがあるために温泉に入ることができません。この間も、「このホテルには障がい者対応になっていないのですね」というと、「なっていない」と回答されました。ぜひ、ホテル業界と相談して、方法を考えていただきたいと思います。

【市長】

今では当たり前のバリアフリー化が成されていないというのが現状でありまして、後からさまざまな対応を取っていくことは非常に難しい中で、利用される方々の方にはマンパワーで努力しながら使っていただいております。しっかり対応していくために、建て替えなどとなるとお金がかかります。そうすると収支などのさまざまな検討をしていかなければならないと考えています。

パーキングエリアの話はモラルの問題もありますが、わかりやすいような形にするなど、しっかり進めていきます。この公民館や赤いベレーの建物の根本的な問題は非常に厳しい実態にある訳であります。釧路市内でも福祉の

まちづくりを進めていますが、あまりバリアフリー化されておらず、やはり昔の建物というのはそういった形が多かったと思います。

センター長がお話したように、今できることはしっかりと進めていきますし、併せてどうしたらいいかということのを常に考えながら進めてまいりたいと思います。

【参加者C】

社会福祉協議会で子ども交流広場の事業と放課後児童クラブの事業を行っていますが、阿寒地区の子育て事業の活動について認可保育所を整備するような市のお考えはあるのでしょうか。

日赤奉仕団の救命救急のAED講習会がありまして、スポーツセンターにはAEDがありますが公民館にはありません。公民館は結構人が集まる場所ですので、1つ設置していただけないでしょうか。

また、公民館のエレベーターについてお話が出ましたけれども、コーラスなどのサークル活動を行う者たちの中には脚が悪くて2階へ上がれず出席できない方もおり、切実な問題になっています。もしエレベーターが無理でしたら昇降機のような簡易なものは設置できませんでしょうか。

【阿寒町行政センター長】

保育事業についてです。幼稚園では3歳から入園が可能となっています。

私も4月に着任して、このお話を3名の方からいただいています。法人による保育所開設の可能性を探り、関係先に打診をしておりますが、なかなか実現には至っていないという状況です。機能を確保するということが大事なことだと思っており、できるだけ早期に何らかの形で機能を確保するように今後も検討してまいりたいと考えております。

【阿寒生涯学習課長】

AEDにつきまして、心臓への除細動は5分以内と言われておりますが、公民館にはAEDが設置されていないため、隣のスポーツセンターに設置されてものを、不測の事態が起こった際に、職員に連絡をして持ってきていただくことにしています。また、消防署が近隣にありますので、電話をして救急車に来ていただくと、おそらく2分以内には到着するものと想定しておりますが、設置につきまして、今後検討をさせていただきたいと思います。

また、昇降機のお話しがございましたが、それも含めて研究をさせていただきたいと思います。

【市長】

AEDについては、公的な施設でありますので、設置するよう検討します。

【参加者D】

先日、新聞に生乳卸会社のMMJが工場を建設するという記事が掲載されており、候補地として鶴居村や阿寒インターチェンジ付近、釧路町が挙がっ

ていました。阿寒インターチェンジ付近には市有地はあまりありませんが、民有地が多くあります。

市において誘致活動を行ううえで、民有地について誘致活動を行うことが適当なのかどうか、また誘致活動をする考えがあるのかどうかお聞きしたい。

【産業振興部長】

報道で、MMJに関することが出ておりますが、市で全てを承知している訳ではありません。当該箇所に市有地はありませんので、動きがあるとする、民有地を中心に考えられているものと思います。求められた際には情報提供は行ってまいりたいと思います。

【参加者D】

候補地があるというのを市の方でやってもらわなかったら民間ではできませんので、希望します。

【産業振興部長】

ご意見があったということで、検討いたします。

【参加者E】

週2回ほど赤いベレーの温泉を利用しておりますが、浴場内のタイルが滑りやすいです。フロントに何度もお伝えしましたが、なかなか改善されません。転んでケガをしたらということを危惧しております。

【阿寒町行政センター長】

確認をさせていただき、どのような工夫ができるのか考えたいと思います。

【参加者F】

徹別地区にテレビの受信施設組合があり、組合長を30年近くしています。平成2年頃からスタートしたのですが、国道から東側、徹別のずっと上に向かって、阿寒川から東側に難視聴地域があります。高台の方（阿寒町蘇牛）に受信施設を作って有線で引いていますが、ケーブルの距離が長く、増設をしながら引っ張っています。約30年近くが経つので老朽化しており、テレビがたびたび映らなくなっています。

先日、保守点検委託業者に来ていただき、原因を調べましたが、不具合の原因が特定できず解決していません。そろそろ限界がきているのではと思っています。何かが起これば組合長の私のところに「どうしたらいいか」と電話がかかってきます。この件についてどういうお考えかお聞かせ願いたいと思います。

【阿寒町行政センター長】

4月上旬にテレビが途切れて、5月上旬と6月にも途切れるということで、担当課にも電話が入っております。おっしゃるとおり、平成2年に開設しており、耐用年数も25年から30年くらいと言われております。

テレビは生活に欠かせない大事なものと認識していますので、新しい設備あるいは他の方法など、今後もしっかりと検討をしてみたいと思っています。

【参加者 F】

切実な状態にあるということだけはお分かりいただきたいと思います。当初、作ったときにNHKから補助金が入って整備したと思います。市の財源が有り余っている訳ではありませんので、整備する場合にどのような財源を使って整備するのか検討しなければならないと思います。なるべく財政的負担がかからないように早く解決していただきたいと思っています。

阿寒川にかかる6mの橋が、一昨年も台風で決壊しまして、2回目もありました。橋そのものは大丈夫ですが、橋の根本がやられてしまいます。

ただ災害復旧で直すとなると、また同じに直さなければならない原則は理解しています。一番利用している北海道電力には話はしています。また雨が強く降ったら根がついたままの木が流れてきて、橋がだめになってしまいますので、検討して欲しいという要望です。

【都市整備部長】

橋につきましては、おっしゃる通りえぐられるということ、それから、上流から濁流で流れてきた木が、橋梁の間を阻害して、そしてふさいでしまったということで、今回、その前後の阻害物を除去しました。まずはなるべく阻害物が溜まらないようにしていき、北海道電力ともいろいろと検討させてもらいたいと思っています。

おっしゃられたように、災害は原形復旧が原則ですので、前の状態に戻すことになります。ただ、今の段階では、阻害物をできるだけそこに流下させないような対応をさせていただき、パトロールを強化していきたいと考えています。

【参加者 G】

今、お話ししていたのは上徹別の橋ですが、富士見橋から上にすずらん橋があり、その間の防波堤がきれいに伐採されています。富士見橋からすずらん橋の両脇は、開発建設部もしくは建設管理部の管轄で、市の管轄ではないと思いますが、伐採されていないすずらん橋の上流それから富士見橋の下流のあたりを、市から陳情していただき、伐採する予算をつけていただきたいと思っています。

【都市整備部長】

建設管理部さんに、今日こういうお話しがあったということはしっかりと伝えさせていただきたいと思っています。

【参加者 G】

最近、阿寒診療所を受診している患者さんが減っているのではないかと思います。診療所の運営状態がどうなのかをお聞きしたい。また非常に優

秀な医者に来ていただいております、釧路の大きい病院であれば一人あたりの診察時間が約3～5分程度ですが、阿寒診療所であれば、10～15分くらいかけて診てくださっています。そんな風に診てくださっているのは、我々住民としてはありがたいです。今後とも継続していただけるようによろしくお願ひします。

【阿寒町行政センター長】

阿寒診療所の1日平均の利用者は、平成28年度で62人、平成29年度決算見込で59.2人となっております。2.8人ほど減っております。ただ、経営に影響を与えるような大きな問題ではないと考えております。

先生の継続ということで、今後も札医大の方をお願いをしてみたいと思います。

【参加者H】

赤いベレーにタトゥーをしている方が入浴されています。施設内にそういう方をお断りするなどのポスターも全く貼られていません。釧路市内の大浴場に行くと、至るところにお断わりのポスターが貼られていますが、そのような方々に対する対応はどのように考えているのかお聞きしたい。

また、昨年の市政懇談会のときに阿寒診療所でクレジットカードの対応をお願いしたいと要望しましたが、未だにクレジットカードの支払い対応はされていません。今後の対応についてお聞きしたい。

【阿寒診療所事務長】

クレジットカードの利用につきまして、いろいろ検討しておりますが、クレジットカードの決済に関わる手数料を診療所が全て負担しなければならないということもありまして、導入ができていない状況です。

ただ、患者さんに対しての利便性という面では有効だと思っております。クレジットカードの導入がされておらず、ご不便をおかけしているということで、何かできないかと検討させていただいております。

診療費が高額になる場合に、現金が無くて支払いができないということでありましたら、ご相談に応じて分納などの対応をとらせていただいております。導入については引き続き検討させていただきます。

【阿寒町行政センター地域振興課長】

入れ墨をされた方の入浴施設を利用についてですが、公的な入浴施設につきましては、入れ墨をされている方の入浴をお断りするような傾向にはございません。赤いベレーにつきましても、これまで入れ墨をされているというだけでの理由で入浴をお断りするような対応をしておりませんので、ご理解をいただきたいと思ひます。

【市長】

キャッシュレス化につきましては、行政センターも含めながら検討していきます。基本的には、現金からキャッシュレスの方向になるのは、世の中の流れだと考えています。あとは導入する場合のコストがどうなるかということ

で、その手数料をどうするかなど検討してまいります。

入れ墨につきましては、今まで禁止していないからいいという議論ではなく、どのように進めていくのかということだと思っています。例えば、入れ墨というのは、暴力団のような方々が入って非常に困るということがあり、当然そういった場合はお断りをするという、いわゆる常識的な話になっている訳であります。ただそういう方でない方で入れ墨を入れている方もいらっしゃると思っております。もし反社会势力的な人が来て不安になるということであれば、その方にはお断りすることが必要だと考えております。

【阿寒町行政センター長】

クレジットの件での補足ですが、市立釧路総合病院は大きな病院ですのでなかなか比較にならないので、町村にある病院や診療所ではどのようなやり方をしているのかを調べます。その上で協議していきたいと思っています。

【参加者H】

手元にある日専連の広報紙には、標茶町立病院、町立中標津病院、標津病院、町立別海病院、市立根室病院等々はクレジットカードが使えますと広告として載っています。そういった部分も含めてお願いいたします。

【参加者D】

国道240号線の飲食店（グリーンパーラー）の下手のところの道路が冬になると凍結して、かなり危ない状態になります。おそらく、防風林の陰になって道路が凍結するのだと思います。道路が陰にならないように防風林の上の方だけでも切っただけしたら、なんとかなるのではないかなと思います。

【都市整備部長】

国道240号線になりますので、開発建設部の道路事務所に今日のご要望をお話しさせていただき、どういった対策がとれるのかを国（開発建設部）に確認をさせていただきたいと思っております。

【参加者B】

立ち木が電線に引っかかって停電になると、普及するまでに3～4時間もかかります。北海道電力に言うと、「私有地であるため、管理はできない」と回答されました。先日も下徹別で4時から9時まで停電になりました。つい2日くらい前にも、西徹別が停電になったという話を聞いています。全く立ち木の管理がされていないから、簡単に停電になる訳です。

昔は国道用地は全て立ち木を伐採していましたので、このような停電はなかったのですが、最近は国道の大半でこういうトラブルが出てきています。

実際に停電になった場合に、農家では一晩で何十万円も損害が出ます。牛乳の検査に何かあった場合には、牛乳でなくなってしまう。

なんとか北海道電力に管理をするよう、市の方からも要請をしていただけませんかでしょうか。

【市長】

どのくらいの頻度で停電が生じているのかということ把握した中で、どのようなことができるのかということ、相談しないといけないことと思っております。開発建設部の方の管理がされていないということにつきましては、以前は草刈りも3回でしたけれども徐々に減ってきたものです。財源なども絡んでくると思いますので、状況等を確認し、こういった対応が取れるのかということを考えて、ご報告させていただきたいと思っております。